

Ⅲ 研究活動

1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
蓮見 孝	ウェルネスに着目したアート&デザインによるヘルスケアの支援と地域創生デザインに関する研究
細谷 多聞	視覚的環境情報の電子化とその活用に関する研究
城間 祥之	テキストマイニング分析手法による潜在知識抽出に関する研究
上遠野 敏	現代美術創作研究 同時代の美術研究 日本の美意識の研究
酒井 正幸	生態展示施設を活用した地域創生デザイン研究
安齋 利典	製品デザインとデザインマネジメントに関する研究（継続） 発想法（含、スケッチ、ブレインストーミング等）に関する研究
石井 雅博	知覚認知・感性の解明とその応用に関する研究
齋藤 利明	オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出
中原 宏	真駒内住宅団地の形成過程と今日的課題
羽深 久夫	北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 米国・東欧・北欧及び東アジア（中国・韓国・台湾）における木造建築の保存・再生・活用 日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊彦	ドイツと日本における無子の増加に関する研究（継続） 超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン（継続） 地域社会の人口減少・少子高齢化に対する施策の研究（継続）
町田 佳世子	複数の分析手法を適用した質的データの読解
矢部 和夫	地域の湿原やその他の生態系における生物多様性の保全・再生と創出に関する研究
吉田 和夫	組織活性化におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）の役割とその生成について
柿山 浩一郎	学生のインタラクションに関する学びを誘発するシミュレータをもちいた教育プログラムの開発と実践
斉藤 雅也	外断熱建築のクリマデザイン
高井 真希子	地域デザインの運営組織に関する研究
武田 亘明	クリエイティブ人材育成のための実践的学びのデザイン
張 浦華	高齢化社会に対応した生活道具の提案
松井 美穂	アメリカ南部文学研究
三谷 篤史	能動アート型コミュニケーションツールの改良と効果検証
山田 信博	公営住宅の処分に関する研究
山田 良	北欧諸国のランドスケープデザイン
石田 勝也	サウンドアンドビジュアルを使用した空間的創造性の構築
大淵 一博	タブレット型端末を活用した看護OSCE 運営・評価支援システムの運用と検証
片山 めぐみ	まちづくりの新たな担い手としての高齢者福祉施設の可能性と課題
金 秀敬	視覚情報と触覚情報の「知覚干渉効果」に関する研究
小宮 加容子	誰もが同じように参加できる、ユニバーサルな遊び場、道具のデザインに関する研究

教員名	研究課題
須之内 元洋	個人や小規模団体による文化活動のための、持続的デジタルアーカイブプラットフォームの開発
福田 大年	多人数の知恵を多層的に蓄積し発想を促す協創型スケッチ法「クルクルスケッチ」の研究
松永 康佑	身体データに基づく模型表現
金子 晋也	住宅建築とその周辺環境における空間のポテンシャルに関する研究
矢久保 空遥	感覚質をもたらす聴触覚刺激の傾向に関する研究

看護学部

教員名	研究課題
樋之津 淳子	針刺し切創による感染を防止するための教育プログラムの開発
松浦 和代	モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導とその評価
山本 勝則	精神看護学におけるシミュレーション教育 患者体験の理解
宮崎 みち子	性暴力被害と女性の健康保護
中村 恵子	大学院における高度実践看護に関する研究（継続）
猪股 千代子	自然治癒力を惹起させる時空間・コミュニティの設計に関する研究
小田 和美	慢性期看護に携わる熟練看護師の療養支援の実践知の可視化に関する研究
河原田 まり子	ソーシャル・キャピタルを活用した地域保健活動の推進
川村 三希子	高齢がん患者が主体的に疼痛コントロールに取り組むための多職種による患者教育プログラムの開発
定廣 和香子	実習安全に向けたFDプログラムの開発
スーディ神崎 和代	在宅終末期ケアに関する国際比較研究 E-KURASHIに関する研究 認知症に関する研究
上村 浩太	小児看護OSCEに対する研修会ニーズ
大野 夏代	マッサージなど看護技術や統合医療に関する研究 国際的活動の計画や評価に関する研究
貝谷 敏子	皮膚・排泄ケア認定看護師による地域連携に関連する診療報酬算定の実態調査
神島 滋子	病棟看護師の看護記録の実態と認識
菊地 ひろみ	新卒看護師の進路選択としての在宅看護に関する研究 ICT遠隔看護の利用状況と効果検証
清水 光子	都市に暮らす高齢者のソーシャル・キャピタルの実態と今後の地域保健福祉活動
菅原 美樹	わが国の専門看護師のコンピテンシーに関する文献検討
古都 昌子	看護学生のキャリア発達支援および看護師の就業継続支援に関連した研究 看護学生の臨地実習における環境の実態と改善策の検討に関連した研究
村松 真澄	地域包括ケアの中で先駆的に実施されている質のよい高齢者・障害者支援に関する基礎調査
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
渡邊 由加利	妊娠期・育児期にある女性のwell-beingの状態と関連する要因の検討
工藤 京子	呼吸器疾患患者の吸入デバイス使用状況
小坂 美智代	経口抗がん剤治療を受けるがん患者のセルフマネジメントを支える看護システム
櫻井 繭子	産業保健活動のシステムに関する研究

教員名	研究課題
田中 広美	看護実践における学習に関する研究
原井 美佳	中年期女性の尿失禁リスク要因解明と尿失禁への対処行動促進に関する研究
藤井 瑞恵	維持透析患者の地域格差と精神的健康との関係
三上 智子	小学校児童へのいのちの教育実践と自己効力感の関連
森川 由紀	生殖補助医療によって出産した女性の育児期の体験
矢野 祐美子	看護師のエンパワーメント経験の分析
山内 まゆみ	助産師の業務能力の実態調査ー助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度開始後の助産師の現状ー
山本 真由美	小児混合病棟の看護に関する管理的視点からの検討ー20年間の文献検討からー
石引 かずみ	わが国の正常出産におけるマタニティケアシステムの違いによる経済効率の比較ー助産師主導の院内助産と医師主導の医療施設に焦点をあててー
小田嶋 裕輝	2型糖尿病患者の首尾一貫感を高める患者教育プログラムの開発と検証
柏倉 大作	術後回復強化プロトコルを活用した看護ケアガイドラインの構築 動画を活用した自己学習支援型のシミュレーション教育に関する研究
近藤 圭子	都市部に居住する高齢者のうつ状態に関連する要因
田仲 里江	地域保健分野におけるソーシャル・キャピタルに関する研究
坂東 奈穂美	多様な人材で構成されたチームの協働
檜山 明子	入院患者に対する転倒予防対策に関する研究
御厩 美登里	在宅死を可能にする在宅ケア基盤づくりの方略 北海道内での訪問看護業務中の交通事故の実態
大友 舞	妊婦の冷えに関する文献検討
中田 亜由美	札幌市南区における高齢者の外出困難要因の明確化
星 幸江	札幌市の精神科長期入院患者の地域移行支援に向けた看護師の連携のあり方～東京都井の頭病院視察・地域移行/地域定着支援に係る懇談会参加から～
横川 亜希子	看護学生のコミュニケーションに対する意識の変化ー学年ごとの意識の変化とその契機に着目してー 大学に初めて就職した助手・助教が就職後に直面する問題と問題への自己対処に関する研究 医療事故当事者に対する支援方法

2 学内公募研究課題一覧

学術奨励研究

教員名	研究課題
金 秀敬	文字カタチの「情報範囲」に着目した「文字デザイン指標」検討に関する実証研究
近藤 圭子	農村地域在住高齢者における特定健康診査結果および自己効力感とQOLに関する研究
矢久保 空遥	共通した印象をもたらす聴触覚刺激にみる刺激変化パターンの共通性

共同研究

教員名	研究課題
◎松浦 和代・安齋 利典 上村 浩太・三上 智子 矢久保 空遥	モンゴル国におけるICT活用による保護者向け自己学習教材「先天性股関節脱臼の予防ケア」の試作とその評価
◎山田 良	北方圏寒冷地における冬の風景美を利用したランドスケープデザインに関する研究ーフィンランド・ラップランド市におけるデザイン実践と市民ワークショップを通じてー
◎小宮 加容子	ユニバーサルな参加・蓄積型の遊びにおける遊び場およびツールのデザイン提案
◎藤井 瑞恵・樋之津 淳子 山本 勝則・中村 恵子 古都 昌子・矢野 祐美子 坂東 奈穂美	大学と医療施設の協働による中堅看護師研修の企画・実施と効果検証
◎金子 晋也・村松 真澄 中田 亜由美	北海道過疎地域における地域包括ケアからみたまちづくりのあり方に関する基礎研究

◎印：代表者

田村ICT基金

教員名	研究課題
◎福田 大年	身近な資源を活かしたコンテンツ制作を促すアプリケーションを地域観光へ応用展開するための基礎的研究
◎松永 康佑	雪像の三次元データを用いたデジタルアーカイブの構築 ～VR技術を利用した仮想札幌雪まつりの制作～（継続）

◎印：代表者

採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
8	3	8	5	1	1	17	9

3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
工藤 京子	北海道における患者を主体とした自助行動としてのHOT患者災害時避難システム	基盤研究（C）	598,098
菅原 美樹	高度実践看護師の臨床推論・判断能力を強化するシミュレーション教育プログラムの開発	基盤研究（C）	967,935
石井 雅博	視対象への能動的関与による視聴覚の変調	基盤研究（C）	650,000
湯川 崇	積雪寒冷地における住宅地の雪処理に配慮した住宅設計システムの開発	基盤研究（C）	780,000
原井 美佳	中年期女性の尿失禁リスク要因解明と尿失禁への対処行動促進に関する研究	基盤研究（C）	1,300,000
定廣 和香子	学生による医療事故防止に向けた実習安全FD展開モデルの開発	基盤研究（C）	1,040,000
菊地 ひろみ	多発性硬化症患者に対する認知行動療法の導入およびアウトカム評価	基盤研究（C）	1,300,000
川村 三希子	認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントの質の向上を目指した疼痛アセスメント指標の開発	基盤研究（C）	1,430,000
スーディ神崎 和代	在宅死を可能にするための在宅ケア基盤づくりの方略－フィンランドと日本の比較	基盤研究（C）	780,000
斉藤 雅也	小学児童の想像温度に基づく地域住育プログラムの開発研究	挑戦的萌芽	1,040,000
片山 めぐみ	高揚感記録モバイルアプリ開発による新しい景観資源収集と観光客誘致の仕掛けづくり	若手研究（A）	520,000
小田嶋 裕輝	2型糖尿病患者の首尾一貫感を高めるための患者教育プログラムの作成と検証	若手研究（B）	390,000
望月 由美子	ヴェスパシアーノ・ゴンザーガの肖像研究：16世紀スペイン統治下のイタリア美術政策	研究活動 スタート支援	1,300,000
石田 勝也	地域の精密な環境情報を使用したデータビジュアライズの公共空間への応用	基盤研究（C）	1,300,000
田中 広美	看護職者の職務遂行困難状況に対するレジリエンス向上支援の研究	基盤研究（C）	390,000
原 俊彦	北海道・札幌市の人口減少、その未来への対応－地域人口分析システムの構築	基盤研究（C）	650,000
三上 智子	小児看護OSCEにおける課題のピアレビューとネットワークの構築	基盤研究（C）	1,820,000
平尾 明美	コーパス分析に基づく救急看護教育支援のためのデータベースの構築及び解析	基盤研究（C）	910,000
村松 真澄	口腔ケアシミュレーションモデルの開発	挑戦的萌芽	650,000
檜山 明子	患者の活動を妨げない転倒予防看護－転倒リスク行動アセスメントツールの有用性検証－	若手研究（B）	910,000
柏倉 大作	術後回復強化プロトコルを活用した看護ケアガイドラインの構築	若手研究（B）	780,000
田仲 里江	市町村保健師との協働によるタブレット型保健指導教材システムのプロトタイプ開発	若手研究（B）	910,000



研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
福田 大年	スケッチを活用した協創型グループディスカッションの手法の構築	若手研究 (B)	1,040,000
金 秀敬	知覚情報間「干渉構造」に着目した「マルチモーダル評価モデル」提案に関する実証研究	研究活動 スタート支援	1,560,000
城間 祥之	テキストマイニング分析手法による「地域創生デザイン」志向潜在知識抽出に関する研究	基盤研究 (C)	1,820,000
町田 佳世子	専門家による知の伝達—双方向的な解説手法の確立と検証	基盤研究 (C)	910,000
矢部 和夫	農地からの養分・塩類負荷がボックのミズゴケ類の生育に及ぼす影響の解析	基盤研究 (C)	1,690,000
山本 真由美	看護実績能力を向上させるための教材開発と評価—装着型産褥子宮モデル	基盤研究 (C)	2,730,000
貝谷 敏子	介護保険施設における効率性の高い褥瘡管理体制の構築と評価	基盤研究 (C)	1,300,000
菅原 美樹	クリティカルケア看護における専門看護師の直接的ケアコンピテンシーと到達度	基盤研究 (C)	1,040,000
松浦 和代	モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク群への育児指導とその評価	基盤研究 (C)	2,080,000
金子 晋也	寒冷地の住宅建築の活用実態と変容過程に関する研究	若手研究 (B)	1,560,000

※課題番号順

科学研究費助成事業基盤研究A (科研A)

研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
蓮見 孝	「拡張キャンパス型地域連携」による過疎市町村の自律的創生デザイン研究	基盤研究 (A)	13,130,000

①概要

本研究は大都市の有するリソースのうち大学の機能と効用に着目し、このリソースを少子高齢化の著しい周辺過疎市町村へ拡大適用する「拡張キャンパス型地域連携プログラム (以下ACPと略記)」の創出を目的とするものです。ACPの適用により、周辺過疎市町村の自律的な活性化を促し、同時に当該大学における教育効果を高めるためには、どのような課題を解決し、どのようなプロセスを経て実現していくべきかを実証実験により解明します。

具体的には、研究対象フィールドを北海道地域とし、大都市として札幌市、また周辺過疎市町村として有珠郡壮瞥町を取り上げます。札幌市内に立地する札幌市立大学と壮瞥町の住民・産業界の連携によるACPを通じて、若年層を中心とした連携地域間の人的交流促進、地域産業の活性化、住民のQOL向上を図り、本研究で得られた成果を「自律的創生支援デザイン」の主要な方法論のひとつとして位置づけ、同学門分野の体系化に活用します。

平成28年度は、教育プログラムの設計を行い、実践、評価しました。具体的には「授業型学び」「PBL (Project Based Learning) 型学び」「WS (Workshop) 型学び」「FW (Field Work) 型学び」の4つの学びを検証の対象とし、地域創生のためのデザイン学に対する受講生の意識変化を探りました。

まず、講師1名がスライド等を用いて口頭で講義を行い受講生複数名が個々に聴講した【授業型学び】を全3回実施しました。参加者は全3回の総数で、札幌市立大学学生が24名、壮瞥町商工会青年部員が30名でした。

つづいて、講師2名が運営役となり、受講生が4名程度×3グループとなり提案を行った【PBL型学び】を3日間の集中講義的に実施しました。参加者は、札幌市立大学学生10名、壮瞥町商工会青年部5名でした。

さらに、講師1名と補助教員が運営役となり、受講生が5名程度×2グループとなり提案を行った【WS型学び】を3日間の合宿形式で実施しました。参加者は、札幌市立大学学生10名、壮瞥町商工会青年部8名でした。

最後に、教員3名と補助職員が引率役となり、受講生が5名程度×3グループとなり調査を行った【FW型学び】を3日間の宿泊を伴うフィールド調査形式で実施しました。参加者は、札幌市立大学学生8名、壮瞥町商工会青年部3名でした。

以上4種類の「教育効果の質」を明らかにすることをめざし、各参加者の意識変化を定量的に捉えることを目的としたアンケート（【デザイン】に対する考え方がどのように変化するか）を実施しました。結果、ACPパッケージ型教育体験プログラムの参加が進むにつれ、学生および青年部ともに「表現力」に関する評価が低下していく傾向に加え、壮瞥町商工会青年部が捉える“デザイン”が【表現などと関連する仕事】から【問題解決要件と関連する仕事】という認識に変化していった可能性が示されました。以上から、各教育の型がデザイン学のどのような要素の向上に寄与するものなのかを明らかにすることができました。

また、地域の魅力調査手法としてGPSロガーを開発し【FW型学び】で試用を行いました。いくつかの課題が明らかになり次年度以降の改善の必要性が明らかとなりました。

②実施体制
 研究代表者：蓮見 孝
 研究分担者：城間 祥之、酒井 正幸、原 俊彦、柿山浩一郎、斉藤 雅也、山田 良、片山めぐみ、金 秀敬、矢久保空遥、上田 裕文
 研究補助員：南部 麻子、塚田 愛可

③研究組織
 統括、教育体系、地域貢献体系、基礎研究体系、事務局

④主な事業実績

年月日	事業実績
平成28年10月7日	【授業型学び】第1回 「拡張キャンパス型地域連携」（酒井 正幸 特任教授） @芸術の森キャンパス（受講生：壮瞥町商工会青年部4名、札幌市立大学学生4名）
平成28年10月14日・21日	【授業型学び】第2回 「いわゆるデザインの基本」（柿山浩一郎 准教授） @壮瞥町商工会 会議室（受講生：壮瞥町商工会青年部18名） @芸術の森キャンパス（受講生：札幌市立大学学生6名）
平成28年10月21日	【授業型学び】第3回 「地域創生デザイン概論」（蓮見 孝教授） @サテライトキャンパス（受講生：壮瞥町商工会青年部8名、札幌市立大学学生14名）
平成28年11月16日～18日	【PBL型学び】 ＜「サービスデザイン」を用いたお土産のデザイン＞（上田 裕文 准教授（北海道大学）、片山めぐみ 講師） @サテライトキャンパス（受講生：壮瞥町商工会青年部5名、札幌市立大学学生10名）
平成28年12月2日～4日	【WS型学び】＜壮瞥町を訪れる観光客に提供する「体験型ツーリズム（WS）」の提案＞（矢久保空遥 助教） @壮瞥町（受講生：壮瞥町商工会青年部8名、札幌市立大学学生10名）
平成29年2月27日～3月1日	【FW型学び】 ＜「環津軽海峡パートナーシップ」フィールドワーク＞（酒井 正幸 特任教授、金 秀敬 講師、矢久保空遥 助教） @北海道道南～青森県（受講生：壮瞥町商工会青年部3名、札幌市立大学学生8名）

受託研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
松浦 和代	北海道産針葉樹材を活用した新規木質部材開発	(株)ハルキ	700,000
酒井 正幸	「円山動物園の森」ビオトープの一般公開に向けた基礎研究	札幌市 (環境局)	500,000
矢部 和夫	キウシト湿原植生調査研究	登別市	500,000
矢部 和夫	平岡公園人工湿地・池に係る植物生育等環境調査研究	(財)札幌市公園緑化協会	792,720
斉藤 雅也	建設作業所における作業員の空調着用による作業環境の改善効果評価と熱ストレス評価ツールの基礎的検討	(株)竹中工務店技術研究所	350,000
斉藤 雅也	新類人猿館の基本デザイン研究	札幌市 (環境局)	800,000
三谷 篤史	防水性を活用したクッションに関する研究	フィールド・クラブ(株)	730,000
小宮 加容子	多世代交流を促す遊びに関する基礎的研究業務	札幌市 (子ども未来局)	2,454,526
福田 大年	ホッキョクグマ・アザラシ館 (仮称) およびゾウ舎 (仮称) のサイン計画研究	札幌市 (環境局)	700,000
松永 康佑	移住を促進する映像プロモーション手法に関する調査・研究	札幌市 (まちづくり政策局)	2,880,900
藪谷 祐介	真駒内地域におけるリノベーションまちづくりの手法検討に関する研究業務	札幌市 (まちづくり政策局)	2,091,512

共同研究費

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
安齋 利典	非開示	三菱電機(株)	非開示

4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額 (円)
酒井 正幸	パラリンピックへの理解を深め、障害者スポーツについて多角的に考究するため、市民・学生向け講座を実施する	北海道オリパラの会	50,000
矢部 和夫	「ウトナイ湖北岸における湿生草原の再生手法検討ー現地での堰上げ実験を想定した事前調査ー」に対する研究助成	(公財)リバーフロント研究所	800,000
村松 真澄	看護・福祉などにおけるボランティア活動を含む御校の教育研究および地域連携活動に賛同し、教員および学生のさらなる活躍、地域の発展のため	フィールド・クラブ(株)	200,000
KANAえる基金 (看護学部看護学研究科)	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	JA北海道厚生連札幌厚生病院	210,000



KANAえる基金 (看護学部看護学研究科)	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	(公財)北海道勤労者医療協会	100,000
KANAえる基金 (看護学部看護学研究科)	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	加藤 登紀子	100,000
KANAえる基金 (看護学部看護学研究科)	札幌市立大学の看護学に関わる教育研究活動の充実や人材育成を通じた社会貢献等を図るため	中村 恵子	742,007

5 海外出張記録

期間	教員名	目的国	目的
平成28年4月19日 ～24日	スーディ神崎 和代	ハンガリー	第31回国際アルツハイマー病学会議 (31st International Conference of Alzheimer's Disease International) 参加および発表
平成28年5月10日 ～15日	河原田 まり子	スペイン	第18回国際女性心理医学会 (ISPOG 2016) 参加
平成28年5月12日 ～20日	石井 雅博	アメリカ合衆国	視覚科学学会年次大会 (Vision Sciences Society) 参加および発表、情報収集
平成28年5月30日 ～6月5日	三谷 篤史	フランス	第9回バン・ヌーメリックに参加し、作品展示を行う
平成28年6月8日 ～14日	川村 三希子	アイルランド	第9回 ヨーロッパ緩和医療学会 発表参加
平成28年7月9日 ～16日	原 俊彦	オーストリア	学会参加報告 (第3回国際社会学会 社会学フォーラム Third ISA Forum of Sociology)
平成28年8月6日 ～12日	宮崎 みち子	アメリカ合衆国	第22回世界医事法学会参加
平成28年8月10日 ～12日	村松 真澄	イギリス	高齢者の口腔ケアの情報交換
平成28年8月14日 ～18日	矢久保 空遥	モンゴル	現地ブロードバンド環境の確認と撮影、インタビュー
平成28年8月14日 ～20日	安齋 利典	モンゴル	共同研究「モンゴル国におけるICT活用による保護者向け自己学習教材『先天性股関節脱臼の予防ケア』の施策とその評価」の調査等
平成28年8月14日 ～20日	上村 浩太	モンゴル	モンゴル国における先天性股関節脱臼ハイリスク郡への育児指導とその評価
平成28年8月14日 ～20日	松浦 和代	モンゴル	専門技術研修会の開催
平成28年8月15日 ～29日	山田 良	イタリア	広場の造形研究における基礎調査
平成28年8月28日 ～9月3日	松井 美穂	アメリカ合衆国	テキサス大学オースティン校図書館 Harry Ransom CenterでCarson McCullersの資料調査
平成28年8月30日 ～9月5日	須之内 元洋	ラオス	定点映像撮影・録音・サウンドマップ作成によるサウンドスケープ調査
平成28年9月7日 ～16日	羽深 久夫	フィンランド、エストニア	歴史的建造物と建築学部専門教育の実態調査 (フィンランド)、歴史的建造物の保存活用の実態調査 (エストニア)

期間	教員名	目的国	目的
平成28年9月20日 ～24日	檜山 明子	アメリカ合衆国	International Association of Risk Management in Medicine参加
平成28年10月5日 ～9日	張 浦華	台湾	ANBD（アジアネットワークビヨンドデザイン組織）ANBD理事会、展覧会準備、作品見学及びオープニングセレモニー参加、ANBD事務局と事前打ち合せ
平成28年10月8日 ～12日	斉藤 雅也	ドイツ、チェコ	オランウータン舎デザインのための事例視察
平成28年10月8日 ～19日	金 秀敬	フィンランド	文字カタチの「情報範囲」に着目した「文字デザイン指標」検討に関する実験
平成28年10月30日 ～11月2日	蓮見 孝	中国	清華大学美術学院設立60周年式典・歓迎会・見学
平成28年10月30日 ～11月2日	上遠野 敏	中国	清華大学美術学院60周年式典参加（式典、フォーラム、大学美術館見学など）
平成28年10月30日 ～11月6日	張 浦華	中国	清華大学美術学院設立60周年式典参加及びデザイン教育と共同研究に関する意見交換
平成28年11月1日 ～7日	スーディ神崎 和代	ニュージーランド	Alzheimers New Zealand Conference 2016 口頭発表と学術集会参加
平成28年11月25日 ～12月5日	三谷 篤史	スリランカ	口腔ケアシミュレータ用センサに関する打ち合わせおよび試作
平成29年1月24日 ～30日	スーディ神崎 和代	フィンランド	北欧都市部の学生と市民の「在宅死に対する考え」を調査
平成29年3月6日 ～16日	山田 良	ノルウェー	北方圏の空間デザインに関する共同研究（共同研究者との打ち合わせ並びに仮設空間作品の制作、建築視察）
平成29年3月8日 ～11日	檜山 明子	香港	20th East Asian Forum of Nursing Scholars参加
平成29年3月21日 ～29日	羽深 久夫	イタリア	ローマ市における世界遺産の保存活用の現地調査
平成29年3月23日 ～31日	村松 真澄	アメリカ合衆国	高齢者口腔ケア、口腔ケアシミュレータ、口腔ケア教育についての視察及び意見交換
平成29年3月23日 ～31日	三谷 篤史	アメリカ合衆国	高齢者口腔ケア、口腔ケアシミュレータ、口腔ケア教育についての視察及び意見交換